

学力向上への主な取り組み

1 朝のパワーアップタイム

国語と算数の基礎力アップを図る時間とし、漢字の小テストや百マス計算、読書を行う。結果を一覧表に記録し、書けなかった文字を宿題などで反復させて習得させる。

2 放課後ステップアップ教室

習熟度の低い児童の学力アップを図る。子供の基礎力向上を図るよう補充プリントなどを用意し、取り組ませる。また、専科教員も指導に入り、全員体制で指導を図る。

3 家庭学習の推進

「学年×10分」を目標に、家庭学習を進める。また、「ひがし学習週間」（前期後期各1回）を設け、取り組みカードを配布し、どの程度家庭学習を行っているか実態を把握し、今後に生かせるようにする。

4 学力調査後の取り組み（夏季補充教室、あだち小学校夏休み学習教室）

夏季休業中の取り組みとして、習熟度の低い子供を10日間集中して指導する「基礎習得コース」と、自分で学習を進める「自主学習コース」に分けて指導する。学年、学級で学力調査後の分析を行い、補充教室の問題を実施する。

5 落ち着いて学習に取り組むことができる環境作り

子供主体型のわかる授業づくりを目指す。校内研究を活用し、足立スタンダード習得研修をし、授業力向上を目指す。またキャリア教育の推進を通し、子供に人の話の要点を考えて聞く姿勢を身に付けさせる。